

学習過程研究

(1 単位)

専門 > 教育学部 > 基礎理解に関する科目等

1 年、2 年、3 年、4 年 通年(前→後)

[ふくい地域創生士認定科目] 週間授業

遠藤 貴広 (endo@u-fukui.ac.jp、0776-27-8964 (2518)、総合研究棟 V (教育系 1 号館) 6 階)

■ナンバリングコード

05-TTM-110 教育学部 学校教育課程 / 道徳、総合学習、生徒指導、教育相談 [1 年次レベル]

■授業概要

生きる力を培う学習の展開とその編成について、また、子どもたちの学習と成長を支える視点・方法・組織について、総合的な学習の時間と特別活動の指導法を手がかりに、また、地域の子どもたちとの協働プロジェクト（探求ネットワーク）に向けた活動とその省察を通して、総合的・実践的に学ぶ。

■到達目標

- ① 総合的な学習の時間や特別活動を中心に展開される長期にわたる協働探究プロジェクト型学習の視点・方法・組織・理論について説明することができる。
- ③ 自分自身の実践を省察し、今後の実践の展望を明らかにすることができる。

■授業内容

- 第 1 回：総合的な学習の時間の趣旨を確認した上で、子どもたちとの活動開始に備える
- 第 2 回：総合的な学習の時間の目標を確認した上で、探究的な学習の指導のポイントを探る
- 第 3 回：年間計画のポイントを確認した上で、先輩スタッフへの聴き取り調査の計画を立てる
- 第 4 回：学習評価のポイントを確認した上で、聴き取りレポート検討の視点を探る
- 第 5 回：青少年教育の課題
- 第 6 回：関連施設の機能・役割
- 第 7 回：体験活動の意義
- 第 8 回：安全管理
- 第 9 回：夏休みの課題の確認
- 第 10 回：夏休み中の活動の振り返りと課題図書の検討
- 第 11 回：長期にわたる協働探究の成果をどう総括するか
- 第 12 回：他者の実践記録をどう読むか
- 第 13 回：実践記録をどう書くか
- 第 14 回：実践記録を書いてみる
- 第 15 回：自身の実践記録の検討

■準備学習（予習・復習）等

毎回、授業と授業の間に、資料の検討やレポート執筆が必要となるので、授業時間外の学修時間も確実に確保しておいてください。

■授業形式

【授業形式】
演習

■成績評価の方法

レポート

■教科書・参考書等

福井大学教育学部 探求ネットワーク活動報告書『共同探求者を育むプロセス～子どもたちと長期にわたる活動から見える探求的学び～』

参考書

☑ 牧田秀昭・秋田喜代美 編『世界をひらく協働探究一幼・小・中の

「育ち」と「学び」をつなぐ福井大附属の挑戦―』（北大路書房、2026 年）

☑ 福井大学教育学部附属義務教育学校研究会・秋田喜代美『福井発プロジェクト学習―未来を創る子どもたち―』（東洋館出版、2018 年）

☑ 福井大学教育地域科学部附属中学校研究会『授業のプロセスとデザイン 総合的な学習の時間 編（学びを拓く《探究するコミュニティ》第 5 巻）』（エクシード、2009 年）

☑ 伊那市立伊那小学校『共に学び共に生きる①―伊那小教育の軌跡―』（信州教育出版社、2012 年）

☑ 原田真知子・上間陽子『「いろんな人がいる」が当たり前の教室に』（高文研、2021 年）

☑ 中野譲・山田綾『地域を生きる子どもと教師―「川の学び」がひらいた生き方と生活世界―』（高文研、2017 年）

☑ 植田一夫・福田敦志『学校ってボクらの力で変わるね―子どもの権利が生きる学校づくり―』（高文研、2021 年）

☑ 白石陽一・望月一枝編『18 歳を市民にする高校教育実践―実践記録を「読む」意味―』（大学図書出版、2019 年）

☑ 行田稔彦・船越勝編『今だからこそ「子ども発」の学びを―バーチャルからリアルに―』（新評論、2020 年）

☑ スージー・ボス&ジョン・ラーマー『プロジェクト学習とは―地域や世界につながる教室―』（池田匡史・吉田新一郎訳、新評論、2021 年）

☑ 堀真一郎『きのくに子どもの村の教育―体験学習中心の自由学校の 20 年―（新装版）』（黎明書房、2022 年）

☑ 藤原さと『協働する探究のデザイン―社会をよくなる学びをつくる―』（平凡社、2023 年）

☑ ロン・バーガー『子どもの誇りに灯をともし―誰もが探究して学びあうクラフトマンシップの文化をつくる―』（塚越悦子 訳、藤原さと 解説、英治出版、2023 年）

■その他注意事項等

「総合的な学習の時間と特別活動」「協働学習支援プロジェクト I」と一緒に履修してください。

■キーワード

プロジェクト学習、協働探究プロジェクト、実践コミュニティ

■アクティブ・ラーニング

アクティブ・ラーニング科目

■授業形態

対面・オンライン併用授業ーリアルタイム・オンデマンド（資料配布）併用型

資料配布は UNIPA（Universal Passport）で行うので、ノートパソコン等のデバイスを持参すること。

■SDGs

4.質の高い教育をみんなに

■当科目によって得られる「ふくい地域創生士」としての知識・能力

- ①「地域で学ぶ」：地域の自然・社会環境に関する基礎的知識
- ②「実践力」：地域の課題に向き合い包括的専門知識を応用し解決に繋げようとする素養